

2022年5月第31回総会議案説明会議事録・・・オンライン会議

5月7日(土) 13:05~14:30 (オンライン会議)

議長：福山委員、書記：高橋委員

出席： ○：出席、△：委任、×：欠席

運営委員： ○石井、○今村、○大澤、○大出、×小坂、○高橋、○竹内、○永井、○福山、
○村尾、×横山、(次期運営委員候補：×佐藤、○安田)

監事： ○島村、○土屋

会員： 浅野(多摩・田園)、大場(県央)、木村(湘南)、露木(多摩・田園)、増田(湘南)、
山崎(多摩・田園)、山脇(多摩・田園)

1. 代表挨拶(省略)

2. 議案説明と質疑応答

1) 第1号議案「2021年度活動報告」説明、第2号議案「2021年度決算報告および監査報告」説明
質疑応答

質問等なし

2) 第3号議案「2022年度活動方針および活動計画」説明、第4号議案「2022年度予算案」説明
質疑応答

要望：非Eグループ会員で議案書が届いていない会員がいたが、予算を付けて、議決権行使書と一緒に本部から送った方がいいのではないかと。

回答：非Eグループ会員へ議案書が届くのは1月の臨時総会の決議により、地域じゃおが対応することになったので、3月の運営委員会で本部から送付という意見もあったが、本部から送付はしないこととした。議決権の行使については、本部の責任領域と考え、議決権行使の案内と行使ハガキを本部から送付した。議案書が届いていないということであれば担当の地域じゃおの問題だと思う。

回答：ベイサイドの手違いです。申し訳ありませんでした。

3) 第5号議案「『新規会員入会促進キャンペーン』の継続について」説明

質疑応答

意見：成果が大きくて会員が増えるなら分かるが、今は効果が見えない、お金の多寡の話ではなく、会費を無くして入会してもらうのはいかなものか、今、湘南でやっている体験入会で、実際にじゃおに興味を持ってもらった人に体験してもらい、活動が自分に合うか、どのような活動が行えるのか、体験してもらうべきではないか。1年間会費なしでいいというのは本末転倒のような気がする。お金の判断ではない、活動を一緒にやることで判断してもらうべきではないか。キャンペーンに対する会員の意識が低い。

回答：入会キャンペーンは、あくまでも新規入会者の入会のハードルを下げることと既存会員の紹介のハードルを下げる措置と考えています。新規入会者の募集は言うまでもなく各地域じゃおが担っており、募集方法、体験入会(お試し期間)の期間や会員勧誘の困難さ等も地域ごと違いがあることは認識しています。会員の入会手続きを行っている本部としては、入会キャンペーンにより、新入会員の入会時の取り扱いを地域じゃお横並びにする効果があることと、上述のように少しでも入会のハードルを下げることで考え継続を提案しています。もちろん、ご意見のように活

動自体に興味がなければ入会に繋がらないというのはもっともなことだと思いますが、まずは、体験してもらうために多少なりとも役立つ施策ではないかと考えています。新入会員の獲得が最重要課題であるというのは、この数年総会議案書の中では訴えてきておりますので、地域じゃおにおいても、世話役会等で新入会員の獲得についての課題認識と具体策の検討をお願いしたいと思います。

4) 第6号議案「2022年度役員選出案」説明

追加説明

会則第9条では運営委員は原則として各地域2名以上とあるが、県央は1名だが、多摩・田園が3名であり、総数では8名体制を確保している。

質疑応答

質問等なし

以上